



地域密着型の病院で、 総合力を身につける専門医研修

埼玉協同病院では、地域に寄り添い、住民のニーズに応えられる医療従事者の 育成に取り組んでいます。2018年度から始まった新しい専門医制度のもとで学 んだ二人の医師に、専門医研修について聞きました。

開原 英範 (医師)

埼玉協同病院 消化器内科

山本 茂輝 (医師)

埼玉協同病院 消化器内科

医師をめざしたきっかけ

開原 私が医師という職業に興味を持つよう になったのは高校生の時です。それまでこれ といった進路もなかったのですが、祖父が不 整脈で倒れたときの医師の対応をみたことが きっかけで、医師を目指そうと決めました。

> 山本 私は幼少期の頃、心疾患で手 術したりと病院に通うことが 多かったため、身近に医 師という職業がありま した。小学生のとき から漠然と医師を 目指すようになり ました。

埼玉協同病院を 研修に選んだ理由

開原 医師を志すなかで、研修の場に、埼玉 協同病院を選んだ理由は2つあります。 1つは、埼玉県が人口に対する医師数が最下 位であること。地域密着型の医療に関心があ ったので、医師の少ない埼玉を選びました。 もう1つはこの病院の雰囲気がとても好印象 だったことです。埼玉協同病院は診療科の垣 根を越えて、患者さんの全体を診ることが意 識されていると感じました。

山本 私は埼玉県越谷市の出身です。育った 地元で働きたいと考えていました。埼玉協同 病院の奨学金を借りて医学部に通っていまし

この病院は、高度な医療水準も担保していな がら、紹介状なしでも気軽に診察受診ができ、 地域のクリニックのように誰にでも門戸が開 かれています。こうした地元密着型の医療の あり方に惹かれ、研修を志望しました。

消化器内科を専門にした理由

開原 医学生の頃から内視鏡への興味関心が あったので、消化器内科で専門医研修をおこ なうという意志は明確でした。面談のときも 「内視鏡をやりたい」と明言をしました。

山本 私は外科や循環器内科、消化器内科、 どれを選択するか悩んでいました。最終的に 消化器内科を選んだ決め手になったのは、内 視鏡検査、穿刺(せんし)をはじめとした手 技や処置、あるいは消化管、胆道など診療の 豊富さです。消化器内科は全身を診ます。求 めている患者さんも多いですから。

開原 埼玉協同病院で専門医研修を選択した 理由は、初期研修でできた人間関係を継続し たかった。これが一番大きな理由です。患者 さんの全体を診ることにおいて、とくに医師 という仕事は治療方針の最終決定をする立場 にあるとはいえ、他の職種の力を借りないと 何もできないと言っても過言ではありませ ん。看護師、薬剤師、リハビリテーション科 スタッフ、栄養士、ソーシャルワーカーなど の専門家たちとともに方針を考えていくこと は必須です。今まで築いてきた医師を始めメ ディカルスタッフとの信頼関係を活かして医 療を提供していきたいと思いました。

山本 埼玉協同病院では、チャンスが早いう ちからまわってくる。貴重な症例だったり、 疾患にかかわることが多いです。そして、も ともとクリニックのように患者さんの性格や 希望に寄り添った診療ができる医師になりた かったので、ソーシャルワーカーの方たちと 話し合って患者さんの退院後の生活まで一緒 にマネジメントさせていただく経験は自分の 中で大きかったです。生活に近いところまで 患者さんを送っていけることは当院の強みで す。専門医研修もこの病院を選びました。

研修で印象にのこったこと

開原 研修中は貴重な症例に触れる機会を多 くいただきました。私は消化器内科だけでは なく、他の診療科の領域も積極的に勉強して 内科全般の知識や経験を得たいと考えていま した。消化器内科の研修医という立場であり ながら、甲府共立病院の循環器内科の研修 や、埼玉協同病院で歯科医師から嚥下内視鏡 検査の指導を受けた事は、本当に貴重な経験 だったと思います。視野を広げることができ

埼玉協同病院の 内科専門研修 プログラムの特徴



Doctor

山本 茂輝 研修歴 profile

2020.4~2021.3	埼玉協同病院
2021.4~2021.9	埼玉西協同病院
2021.10~2022.3	埼玉協同病院
2022.4~2022.9	甲府共立病院
2022.10~2023.3	埼玉協同病院

開原 英範 研修歷profile

2020.4~2020.9	埼玉協同病院
2020.10~2021.3	埼玉西協同病院
2021.4~2021.9	埼玉協同病院
2021.10~2022.3	甲府共立病院
2022.4~2023.3	埼玉協同病院

esident Ro

専門医研修3年目では、超音波内視鏡検査を主導で担当させてもらいました。何かひとつの領域を任せてもらえる。これは医師としての技能を大きく成長させるための機会なので、とてもありがたかったです。先輩医師との信頼関係を密に築いたうえで仕事を任せてもらえるので、これも埼玉協同病院の規模ならではだと思います。

山本 研修中に、痰づまりの症状を抱えた90歳の患者さんを担当しました。このとき、窒息で運ばれてきたのですが、気管切開をするかどうか、とても悩んだことを覚えています。痰づまりはあるものの身体は元気です。気管切開すると声を失ってしまう。年齢を考えるとそうした処置は何もせず、その都度痰を取り除きながら生活していくという選択肢もある。ご家族とも何度も面談し、本人の意思も直接聞きながらより良い方針を探っていきました。最終的には気管切開をすることになりました。手術も無事成功して退院し、胃ろうによる食事と人工呼吸器を使った生活をされています。

少し前に、胃ろうの交換のため来院されたのですが、元気そうにしている姿を見て、あのときの方針決定は間違っていなかったのだろうと思いました。

本人とその家族としっかり話し寄り添った状



態で方針を決め、その結果、患者さんが退院 後も元気そうに家族と過ごされていたことか ら、この選択は正しかったと思います。研修 5年目の立場で、自分の主導で患者さんを元 気な姿に導くことができたのは、今後も忘れ ることのない経験です。

今後の展望について

開原 より高度な医療をこの地域密着型の病院で提供していくことが目標です。私は現在、胆道・膵臓の領域を学ぶために、週に一度がんセンターにて研修に参加しています。他の医療現場で行われている最先端の医療を学び、埼玉協同病院に持ち帰って提供していきたいと考えています。

山本 医療現場では、さらに専門性の向上が 重視されています。他方、社会的ニーズとい う面では、患者全体を診るジェネラリストの ような医師像が求められていると思います。 ジェネラリストの指向を持つ埼玉協同病院 で、さらに地域医療に貢献しつつ、専門性も 高めていきたい。私は今後、肝臓を重点的に 学んでいきます。

来年度から他の病院での研修も始めます。高 水準の医療を提供し、自分にできることを増 やして埼玉協同病院に還元したいです。こう した学びや医療のあり方を後輩医師にもつな げていきたいですね。

医師を目指す学生への

メッセージ

開原 職場の雰囲気が自分に合っているかは 重要だと感じています。勉強することや何か 専門性を高めることと同時に、困ったときや 悩んだときに周囲と相談し合うことを意識し てほしいと思います。

山本 大学に入ることや試験に合格するためには勉強はもちろん必須なのですが、「自分はどういう医者になりたいのか」という一本柱をしっかり持っておくことも重要だと思います。いろいろ学び経験するなかで、自分は何がやりたいかわからなくなるときがくるので、その一本柱があれば心強いです。そのためには試験のための勉強だけでなく、日々いろいろなものを見て考えておくことが大事だと思います。 ◇



医療現場のリアル ~SDH・いのちと向き合う私たち~

自身の出自を隠したい60代の女性

Case study [医療現場での事例]

Sさんは60代独身の女性で、糖尿病と脂質異常症で通院をしていました。50代の頃より糖尿病を指摘されており、働きながら食事・薬物療法で生活してきましたが、60代になり仕事が定年退職となりました。そのため治療費の経済的負担が大きくなったことで通院困難な状況となってきました。

年金では生活も危ういことがわかり、生活保護の検討を伝えると本人から「絶対に生活保護は受けたくない」と拒否されました。生活保護に関するネガティブなイメージを持っていることから何度かSさんに話をしましたが、かたくなに「生活保護は嫌」という態度を崩すことはありませんでした。Sさんはなぜ生活保護を拒否するのでしょうか。

Sさんは在日コリアン2世でお父様とお母様がともに在日コリアン1世として、生活は大変でも家族3人で暮らしていました。 Sさんという名前は日本名(通称名)で、民族名(本名)もあります。しかし、生まれた時から日本で生活するSさんにとっては日本名で生活することが自然なことでした。Sさんが20代の頃、結婚を考えていたパートナーに在日コリアンであることが知られ、婚約を解消されてしまい、Sさんは深く傷つきました。 その後、両親が高齢になった際に生活保護を受けるための書類などに本名が記載されることを知ったそうです。ご両親が亡くなった後に起った生活保護バッシングや在日コリアンへのヘイトデモ報道を見たSさんは若いころの婚約解消なども思い出してしまい、生活保護を受けると自分の出自が明らかになってしまいバッシングされる存在になることから生活保護を絶対に受けたくないと思うようになったようです。

Sさんには経済状況や治療内容が変わりどうしても通院ができない時に改めて生活保護などを検討することとし、食事療法や薬物療法に運動療法を行い医療費がかからないよう通院支援を

第2種社会福祉事業として本事業を開始してから、9年が経過しました。2015年~17年度の3年間に利用した707事例のうち14事例をまとめ、2019年5月に「いのちと向き合う私たち~無料低額診療事業からみえてきたこと~」を発行しました。



この事例から、みなさんに伝えたいこと

-現場に立つ医師より-

「扶養照会」という言葉を知っていますか。生活保護を申請した人や、受給が決まった人に関して、自治体がその親族に、仕送りができるかどうかを聞く仕組みのことです。生活保護には「扶養は保護に優先する」という決まりがあり、民法上で「扶養義務」がある3親等までの親族が対象とされています。父母や子どもが1親等、きょうだいや祖父母、孫が2親等、叔父、叔母、甥、姪などが3親等に含まれます。対象者には、主に文書で質問事項が寄せられます。「金銭的援助」や定期的な訪問や電話連絡など「精神的支援」が可能かどうか、可能な場合には具体的にどのような内容かのほか、文書を受け取った親族の家族構成や職業、年収、資産状況などを聞く項目があります。厚生労働省は、「扶養が期待できない」例を示していて、それに当てはまる親族に対しては、自治体は照会をしなくていいとされます。未成年、70歳以上の高齢者、音信不通(10年程度)、借金をするなど著しい関係不良などです。

住まいを失い、所持金が数百円という極貧状態になっても「生活保護だけは受けたくない」と 拒否感を示す人が多くいます。その理由が「家族に知られるのが嫌だから」というものです。先 述した内容を見れば分かる通り、あらゆる親族に自身の状況が伝えられてしまうと考えたら、誰 でも生活保護を受けたくないと考えるのは当たり前ではないでしょうか。

日本では人口の1.6%しか生活保護を利用しておらず、他の国よりもかなり低い利用率です。しかも生活保護を利用する資格のある人のうち現に利用している人の割合(捕だつ率)は2割程度にすぎません。国や自治体が生活保護を受けさせないようにしている背景をみなさんにも学んでほしいと思います。

SDH

健康は遺伝子や生活習慣などの 生物学的要因だけで決まるので はなく、成育歴・労働環境・所 得・人と人のつながりなどの社 会的背景も関与しており、これ らを「健康の社会的決定要因 (SDH = Social Determinants of Health)」といいます。

医療生協さいたまでは、SDHに 着目した HPH 活動や社会保障 拡充のための活動を通じ、健康 格差の縮小を目指しています。

Kenewal open

より急性期の機能を強化

救急やがん診療を担う現在の急性期病院としての機 能を一層強化します。今回のリニューアルは全体の一 部で 2026 年に完成を目指しています。



東棟リニューアル



埼玉協同病院

ふれあい生協病院

2023年8月に埼玉協同病院は新しい東棟をリ ニューアルオープンしました。それと同時に埼 ポープシ

在宅での暮らしを支える 地域包括ケアの拠点

外来診療の一部を埼玉協同病院から引継ぎ ました。在宅医療として訪問診療や訪問リ ハビリテーションを行いつつ、在宅復帰に むけた中長期的なリハビリテーションなど を行える地域包括ケア病棟を開設します。 また一年に一度自分の体をチェックする健 康診断エリアを外来エリアと独立して設け



入りやすい雰囲気にするため小児科診察 室のドアは動物の絵が描かれています



医学生の皆様はぜひ長期休暇を利 用して埼玉協同病院・ふれあい生 協病院へ見学にお越しください。





🦈 未だ建たぬ病院へ

卒業する1977年、埼玉協同病院はまだな くて田んぼの真ん中に「生協病院建設予定 地」という看板があるだけでした。同じ大 学の同期を含む6人が未だ建っていない病 院へ就職するというのだから教授にも心配 されました。

私たちは教授の心配をよそに埼玉協同病 院が出来た時に必要な診療科を話し合いま した。私は産婦人科を専門にすることに決 め、卒業後医療生協さいたまの前身である 埼玉中央医療生協に就職し、給料はそこか らもらって東京大学医学部付属病院で産婦 人科研修 (※1) を開始しました

現在老人保健施設みぬまで施設長として働いている神谷先生。埼玉協同病院の 産婦人科開設に尽力し、医療生協さいたまの理事長としても活躍した先生に医 師を目指し、医学部を経て、埼玉協同病院産婦人科創設期に関わるお話を前後 編に分けて掲載します。2023年8月に新しくふれあい生協病院ができるからこ そこの話から医学生をはじめとした医療系学生、医療者、患者さん、地域住民の みんなが集まってもらいたいとお話くださいました。

※採血練習に腕を 差し出される班会

産婦人科研修をしながら私は組合員さん の力を借りて班会を200か所以上開いても らいました。目的は地域住民に埼玉協同病 院の建設を後押ししてもらうことでした。 ある班会では終わった後に組合員さんが来 て「あなたたちはまだ注射一本できないだ ろうから、血を取ることと注射することを まず覚えろ」と自分から腕を差し出してく れました。医療生協ならではの大きな財産 だと思います。

卒業後一年経った1978年4月埼玉協同病 院が開院しました。

※ 産婦人科の開設から 大切にしてきたこと

研修を終えて、1982年8月に埼玉に戻 り、翌1983年4月に産科を開設しました。

開設時からお産の主体者は誰かというのを 考えて妊婦さんが地域という場所『で』お 産をするのではなく、地域『が』妊婦さん を中心として産み、育てていくんだという 思いを持って「地域が産み育てる」という フレーズを作りました。そして、「お産を 家族一単位だけじゃなく、親せきも含めて 一大イベントにするんだ」と開設時からう ぶ声学級 (※2)、立ち合い分娩、母児同室 を行いました。

今新しく埼玉協同病院の隣にふれあい生 協病院ができました。みんなが集まって知恵 や力を出し合うそれが埼玉協同病院がずっ と大切にしてきたことです。だからこそ、み なさんにもこの新しい病院でその知恵や力を 出す一人になってもらいたいと思います。

- ※1 2004年に卒後研修制度必修化される前はほと んどの医師は卒後すぐ志望診療科の研修をす ることが当たり前だった。
- ※2 うぶ声学級:両親が妊娠初期から妊娠中の生 活、出産、育児について学ぶ教室。

Book review [ブックレビュー]

「ユニコーン

── ジョルジュ・サンドの遺言 ── 」

原田マハ 著

かし、アート小説を数多く生み出し続ける素晴らしい作家さん です。美術館巡りやアートを敷居が少し高いと感じている人 は、ぜひ手に取ってみてほしいです。私も知識不足が負い目で アートからほど遠い人間でしたが、この本をキッカケに美術館 にもよく行くようになったので紹介します。

この小説では、「貴婦人と一角獣」という6枚1組のタペストリー (室内装飾用の織物) に描かれる貴婦人と、このタペストリーに惚 れ込んだ実在する女流作家ジョルジュ・サンドが主人公の物語 です。タペストリーに描かれているものは森の中にいる貴婦人 と一角獣の他に、可愛らしい動物たちや色鮮やかな草花で、全 体的に赤と緑が綺麗なコントラストを成し、誰もが魅了される

美しい作品です。6枚の内5枚は「触 覚・味覚・嗅覚・聴覚・視覚」をテ ーマに同じ構図で描かれています が、6枚目にだけテントが描かれて おり、その中央には「我が唯一の望 み (À mon seul désir)」と書かれて います。この貴婦人の唯一の望みと は何か、と様々な専門家が考察して いますが、原田マハさんの豊かな想 像力によって生み出された素敵な物 語を通してその解釈に迫ります。



小説を読んだ後改めて「貴婦人と一角獣」のタペストリーを眺 めて自分でも物語を自由に想像すると作品をより楽しむことが できます。この小説は私に自分の感性に響く作品に出会ったと きの気分の高揚は何にも変え難い喜びであることを教えてくれ ました。徳島県の大塚国際美術館には6枚目のタペストリー再 現があるので、興味のある方は足を運んでみてください。 兼城一媛乃(岡山大学5年)

Information



進路アンケートのご案内

2024年4月からの進路を回答してくれた方、全員に新生活応援図書カード500円分プレゼント!



対象:2023年度に大学受験生の方 アンケート回答期限 4/30(火)

医学部新入生入学前実習

対象:2024年度新入医学生 医学部入学前に病院・診療所で医師 の仕事見てみませんか?



ホームページよりお申込みください。

HP-URL https://kyoudou-hp.com/skymet/student/visit/

トトロのふるさと Webアンケート

で協力頂いた方には先着で5名様にQUOカード(500円分)をプレゼントいたします。(応募メ切:3/31回答分まで。プレゼント発送前にメールにてお知らせいたします)



免着で QUOカード プレゼント!



トトロのふるさと Friends

埼玉の医療を考える会



2023年11月に長崎県を舞台に長崎民医連と合同奨学生ミーティングを行いました。この企画は埼玉民医連の奨学生から長崎で「平和」を学びたいという要望と長崎民医連の奨学生から埼玉で増えている「外国人の方の医療について」を学びたいという要望があったことで合同企画として行うことが実現しました。

埼玉からは医学生5名が参加しました。1日目の平和FWでは長崎原爆資料館を 見てから平和公園の碑巡りツアーを経て、被爆者講話を聴きました。

被爆者の方から「自分は被爆した時2歳で、現在80歳。被爆体験を語る私たちの会では最年少です。今、被爆した人から直接話を聞けるのはあなたたちの世代が最後の世代かもしれません」と実際に被爆した方の話が聞ける機会がとても貴重なものであることを伝えていただきました。そして、私たちがその記憶を風化させないためにその想いや記憶を語り継いでいくことの大事さを感じました。

2日目は「国を持たない最大の民族」と言われるクルド人が埼玉の南部地域に在住している歴史やNPO法人での取り組みを学び、医療を受けることの困難さについて議論しました。議論の中で学生からは「平和と外国人医療。別のことのように思えてその人の健康や生きる権利が脅かされてしまう状況があるということが共通している」と言った意見がでました。

埼玉の学生からは「現地に行くことでしか学べないこと感じられないことがあると思った」「長崎の学生と交流でき、自分と同じ悩みをもっていたことやそれをどう解決したのかなど様々なことを話し合うことができ充実した2日間だった」といった感想が寄せられました。

私たち埼玉民医連は良い医療や良い医師になるた

めに医学生向けに様々な学習やFWを行っております。 みなさんもご興味があればぜひ私たちと一緒に学び語りましょう。みなさんのご参加をお待ちしております。



医師を志すみなさんへ

奨学生募集

お申込・お問い合わせ先

埼玉民医連・医療生協さいたま 埼玉協同病院 医学生担当

TEL 048-296-5822





https://kyoudou-hp.com/skymet/



私たちは学ぶみなさんの力になりたい。

奨学生活動は、みなさんの医学生としての成長、医学生生活の充実にきっと役にたちます。そして大学では学べない学びが沢山あります。奨学生になって、 学び、考え、私たちと一緒にこれからの埼玉の医療を支えていきましょう。

貸与金額 月額 **80,000**円 特別貸付・ 入学時特別貸付 あり 返済 免除制度 あり

医療現場の「ホント」に迫る!



February Salan 98 §





医療生協さいたま

埼玉協同病院 医学生担当 https://kyoudou-hp.com/skymet/ 〒333-0831 埼玉県川口市木曽呂1317番地

TEL:048-296-5822(直通) MAIL: skymet@mcp-saitama.or.jp